



## ALIVEふくしま様より

この度は多大なご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。ALIVE ふくしまでは、3月26日より被災者ペット相談窓口を開始しましたが、その直後から1日20~30件もの相談が寄せられ、目の回る忙しさで仕事もできない状況でした。このところようやく落ち着いてきて、仕事も再開することができましたが、まだまだ大勢の被災者が支援を必要としています。被災地の自宅に残したペットを一時帰宅時に見つけられず必死に探している方、仮設住宅に入らずペット同伴で入居できる住宅を探している方、3ヶ月もペットを車内に置いていることからペットの熱中症やストレスによる疾患を抱えている方など、差し迫った相談が寄せられています。今後もこれらの相談に出来る限り応じて行きたいと考えていますので、どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。頂きましたご寄付はぜひ有効に使わせて頂きます。心より感謝を申し上げます。

ALIVE ふくしま 代表 和田央子



## NPO法人 アニマルクラブ石巻様より

アニマルクラブの阿部です。カンパをいただきました。いつもいつもお心遣いありがとうございます。お礼も申し上げず、失礼いたしました。毎日やることに追われ、やらなきゃならないことが次々出てきて、月日ばかりが過ぎていきます。倒壊家屋の取り壊しやヘドロ入った堀の汲み上げなどは行われていますが、まだ信号が止まっているところも多く、閉まったままの店も多いです。瓦礫の下や、空き家から子猫が見つかっています。日曜日、仙台まで行って、里親探しをしましたが、貰い手はなかなかいません。

NPO法人アニマルクラブ石巻



## 特定非営利活動法人エーキューブ様より

ご連絡ありがとうございます。ご協力、心より感謝申し上げます。返信がなかなか困難な状態にあり申し訳ございませんでした。遅くなりましたがPDFで受領書を添付させていただきます。みなさまのご好意に支えていただき、被災動物それぞれの要望に細かくお応えしながら仮設住宅のサポートや個別配布を継続することが出来ています。重ねて御礼申し上げます。エーキューブ一同出来る限り頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 エーキューブ 副理事長  
村上 淳子



## 第3回目送金分



## 犬猫救済の輪様より

メール頂きありがとうございます。ご支援金の件、もう本当に申し訳ございません。私の方が何かお礼をしなくてはならない立場ですのにこんなにまでしていただき、もうなんと申し上げて良いやら。まったく、力不足ですが、ただただひたすら日々動物たちをおもい頑張らせて頂きます。ご協力いただいております皆様にも機会がございましたらくれぐれもよろしくお伝えくださいませ。

今週は、また、特別に暑い日が続くようです。熱中症、お気を付けてください。お礼まで。

犬猫救済の輪 結 昭子

## 新聞記事より

被災ペットの支援をきっかけに設立された松山市のNPO法人「えひめイヌ・ネコの会」が、東日本大震災で飼い主とはぐれるなどした犬や猫を救おうと、地元で支援活動が続けるNPOへの義援金や、迷子になったペットを育ててくれる人を募っている。代表の高岸ちはりさん(58)は「小さな命にもどうか救いの手を」と訴えている。(浅野友美)

高岸さんは、1991年の長崎県・雲仙普賢岳噴火災害で、飼い主と離れ離れになった犬や猫の存在を知り、ペットフードを被災地に送るなどの支援を開始。95年の阪神大震災では被災地へ赴き、避難所で犬や猫を連れた被災者にフードを配って歩いた。

今回の震災後、高岸さんは、津波で被災した宮城県内で1匹の犬が衰弱した別の1匹を守ろうと寄り添うテレビ映像を目にするなどし、支援が必要になると判断。先月14日から義援金の募集を始めた。現地からの情報では、津波でペットとして飼われていた犬猫の多くが犠牲となり、東京電力福島第一原発からの放射能漏出で、住民が避難した福島県内では今も数百匹が放浪。現地のNPOなどによって少しずつ保護が進められているという。

現在、約70人から70万円以上の義援金が寄せられ、今月中に現地の社団法人SORA(福島市)、市民団体「新潟動物ネットワーク」(新潟市)、市民団体「犬猫救済の輪」(川崎市)、NPO法人「エーキューブ」(仙台市)、NPO法人「アニマルクラブ石巻」(宮

城県石巻市)、市民団体「動物いのちの会いわて」(岩手県雫石町)の6団体に送付。動物を保護する際のガソリン代や治療費、餌代などに充てられる。

申し出はまだないが、今月13日、ドッグフードメーカーから「被災動物を一時保護した人らに無償でフードを提供したい」と連絡があったという。

「人の命が多く失われているさなか、なかなか動物への支援を言い出せなかったが、何か協力したい」という声も寄せられ、高岸さんは「必死に生き永らえた貴重な命。遠慮せずに手を差し伸べてほしい」と呼びかけている。中略

(2011年4月17日 読売新聞)

## 県内の動物愛護団体、被災ペットへの支援呼びかけ

認定NPO法人「えひめイヌ・ネコの会」(高岸ちはり代表)は、飼い主が被災するなどして飼育が困難になったイヌやネコの里親を募集している。里親を希望する人には、同会が被災地の愛護団体からのペットの受け入れを支援する。また、被災したペットを保護している被災地の愛護団体への支援金も募集している。中略

(2011年4月20日朝日新聞)